

2025년 11월 23일 현재

## 履歷書 (이력서)

ふりがな イ ヒョンドン

氏名	李 炫東
----	------

生年月日	2000年 (平成12年) 生 (満 24 歳)	性別	男
------	--------------------------	----	---



現住所	〒 000-0000 大韓民国 (詳細住所記入)
連絡先	Email: lhd000721@naver.com Tel: +82-10-5564-4801

年	月	学歴・職歴 (학력 및 직무 이력)
学歴 (학력)		
2019	3	高等学校 卒業
2019	3	清州大学校 (Cheongju Univ.) 入学
2025	2	清州大学校 人工知能ソフトウェア学科 卒業予定 (GPA: 3.1 / 4.5)
対外活動・インターン (대외활동)		
2024	6	2024 Epson Innovation Challenge in Korea 本選進出 - 参加者1000名中、本選100名に選抜 (Like a Lion & EPSON主催)
2024	9	クラウドコンピューティングブートキャンプ 修了
		以上

スキル (Skills)	<ul style="list-style-type: none"><li>• Languages:<ul style="list-style-type: none"><li>◦ Java (Spring Boot): REST API 設計および構築が可能</li><li>◦ Python (Django/Flask): データ処理およびバックエンド開発</li><li>◦ JavaScript/TypeScript: ReactベースのSPA開発経験</li></ul></li></ul>
-----------------	---

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Infra / DB:</b> AWS (EC2, S3), Docker, MariaDB, MongoDB</li><li>• <b>Collaboration:</b> Git, Jira, Figma (チーム開発プロセス理解)</li></ul> |
|--|---|

自己紹介 (자기 소개)	<b>「新しいことに挑戦し、自ら動いて学ぶ開発者」</b> 好奇心が強く、興味を持った技術はすぐに手を動かして試してみる性格です。小さなアイデアでもコードとして形にする過程を楽しみ、試行錯誤の末に問題を解決した時の達成感を原動力としています。 基本に忠実でありながら、ユーザー体験(UX)や保守性を考慮した設計ができる「成長し続ける開発者」を目指しています。
Links	GitHub: <a href="https://github.com/minesp3164">github.com/minesp3164</a> Blog: <a href="https://minesp3164.vercel.app">minesp3164.vercel.app</a> Portfolio: <a href="#">Notion Profile</a>

氏名: 李 炫東

# 職務経歴書 (직무 경력서)

## 職務要約 (Summary)

Webフロントエンドからバックエンドまで幅広い開発経験を持つフルスタック志向の開発者です。

React, TypeScriptを用いたフロントエンド開発に加え、Django, Flaskを活用したバックエンドAPI設計・実装の経験があります。

特に、実際のユーザーやチームのニーズに基づき、企画段階から設計・実装・デプロイまでを一貫して遂行したプロジェクト経験が豊富です。

## プロジェクト開発経験 (Project History)

### 1. SomeTime - 大学生向けマッチング・コミュニティアプリ (2025.03 - 2025.05)

概要	大田(테ジョン)地域の大学生を対象とした紹介・コミュニティプラットフォーム。 <a href="https://some-in-univ.com/">https://some-in-univ.com/</a>
役割	<b>Frontend / Mobile App (React Native)</b> - <b>グローバルサービス・アーキテクチャ設計:</b> 初期設計段階から多言語拡張を考慮し、i18nライブラリを導入。ハードコーディングを排除し、言語リソース(JSON)を分離管理することで、日韓同時リリースの基盤を構築。 - コミュニティ機能(掲示板)のUI実装およびCRUD機能開発 - ログイン/非ログインユーザーのアクセス制御およびUI/UX改善 - Axios設定および初期データ構造の設計
環境	<div>React Native</div> <div>TypeScript</div> <div>Supabase</div> <div>Zustand</div> <div>TailwindCSS</div> <div>i18n</div>

### 2. Startip - AI顔分析ヘアスタイル推薦サービス (2024.03 - 2024.11)

概要	ユーザーの写真を分析し、顔型に合ったヘアスタイルを推薦・合成するWebサービス。 <a href="#">GitHub Repository</a>
役割	<b>Project Lead / FE Dev / BE Support</b> - プロジェクト全体の進行管理（スプリント管理）およびチームリーディング - React Webcamを利用した画像キャプチャ機能および非同期処理 - フロント・バックエンド間の画像データ転送ロジック実装

	<div><div>- Hugging Face (detr-resnet-50) を活用した人物検知機能の統合</div><div>- ダミーデータ転送によるURL直接アクセスの遮断（セキュリティ強化）</div></div>
環境	<div><div>React</div><div>Python (Flask)</div><div>MariaDB</div><div>TailwindCSS</div><div>Hugging Face</div></div>

3. Lettering - リモートプリント・言語交換サービス (2024.06 - 2024.07)

概要	<div>EPSONプリンターのリモートスキャン・プリント機能を活用した趣味共有・言語交換サービス。</div> <div><a href="#">GitHub Repository</a></div>
役割	<div><b>Backend Developer</b></div> <div><div>- RESTful API設計およびURI構造の策定</div><div>- Epsonプリンター固有番号を活用したAPI認証キー取得ロジック実装</div><div>- AWS S3を利用した画像保存および通信処理の実装</div><div>- ユーザーの関心事をDBに保存・管理するAPI開発</div></div>
環境	<div><div>Django (DRF)</div><div>AWS S3</div><div>Swagger UI</div><div>Docker</div></div>

氏名: 李 炫東

4. Algorithm\_Study\_Helper (2022.10)

概要	アルゴリズム学習の成果を可視化し、モチベーションを向上させるWebツール。
役割	<b>Full Stack Developer</b> - <b>GitHub API連携:</b> リアルタイムコミット履歴の取得・分析およびコンテンツ解析の自動化 - <b>安定性向上:</b> 外部API通信時の障害連鎖を防ぐためのサーキットブレーカー (Circuit Breaker) 導入 - ReactとTypeScriptを用いたUIコンポーネントの修正・改善
環境	<div>React</div> <div>TypeScript</div> <div>GitHub API</div> <div>TailwindCSS</div>

自己PR (Self Promotion)

1. チームの生産性を高めるコード (팀의 생산성을 높이는 코드)

可読性は基本であり、「**レビューコストを削減すること**」が核心だと考えます。PR(Pull Request)作成時には、ロジックに対する明確な説明とテストコードを含め、同僚が安心してマージできるコードを志向します。チームメンバーが私のコードを見て意図を即座に把握できるように作成することが、最高の協業であると信じています。

2. 開発を始めたきっかけ

問題を自らの手で解決する楽しさを知ったことが始まりでした。簡単な自動化スクリプトを作成し、自分のコードが実際に動いて役立つ瞬間を経験した時、開発の魅力に惹かれました。それ以来、より複雑な機能を実装し、ユーザー体験を向上させる方法を悩みながら、自然と開発者の道を歩むようになりました。

3. 今後の目標

単なる機能実装にとどまらず、「**製品全体の完成度に貢献できる開発者**」になりたいと考えています。そのために、ユーザーインタラクション設計、パフォーマンス最適化、メンテナンスしやすいアーキテクチャ設計を継続的に学習しています。長期的には、デザイン、バックエンド、インフラ（デプロイ）まで幅広い領域を理解し、広い視野を持つエンジニアとして成長したいです。

